

べっぴ

市議会だより

2008.1.1

NO. 85

迎春



今年の干支「子」をデザインした竹工芸



別府市議会議長
山本 一成

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、お健やかに新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

本年は、いよいよチャレンジ大分国体が開催され、別府観光がさらに飛躍する年であります。

一方で、社会・経済情勢の大きな変化が、市民生活への負担増や不安となっております。

私ども市議会といたしましては、その負担や不安を少しでも取り除くために、本年も自らの改革を引き続き行いながら、議会の更なる活性化、機能強化を図り、議会運営を推し進めたいと考えております。

そして、まず安定した行財政基盤を確立し、高齢者に優しく、若い世代の子育てや障がい者の支援、そしてすべての市民の皆様が安全で安心して暮らせる施策など様々な行政サービスを展開しながら、希望あふれ豊かな生活が過ごせるよう市政の発展に衆議一決して邁進していく所存であります。

この一年が市民の皆様にとって素晴らしい年でありますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

各会派から 年頭のごあいさつ



自民党議員団

市政の更なる発展と活性化に取り組みます



野口 哲男



三ヶ尻正友



浜野 弘



松川 峰生



永井 正



首藤 正



黒木愛一郎



清成 宣明



河野 教則



吉富英三郎



山本 一成



江藤 勝彦



堀本 博行



市原 隆生



荒金 卓雄



穴井 宏二

徹して！市民本位の政策を

公明党

私も自民党議員団はかねてより懸案であり、またご支援をいただく市民の皆様の永年のご指摘でありました、新人議員3名を含む上げます。

17名で議会の最大会派として統一を果たし、一意専心、議会の中心的役割と責任を持ち、一丸となつて別府市政の短期・長期の政策を実現、将来に向け市政発展・活性化をはかり、浜田市政とは是非々々を貫き、新しい地方自治の精神を先取りしながら、更なる議会改革・行財政改革を推進、財政基盤の確立、教育の再生、時代を担う青少年の育成、中心市街地の活性化と安心・安全な町づくり、観光振興等に全力で取り組みます。

今年一年、市民の皆様方のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



松川 章三



萩野 忠好



萩野 忠好



国実 久夫



長野 恭紘



乙咩千代子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は2名の新人を迎え、皆様の大きなご期待をいただき新出発することができました。本年も4名団結して、公明党の新しい歴史を築いて参ります。

昨年末には楠港跡地と山の手地区に相次いで、複合商業施設がオープンし期待される中心市街地の再構築が始まりました。そして12月には「アジア・太平洋水サミット」が別府市で開催されて、国内外の多くのご来賓・お客様をお迎えし、別府を世界へアピールすることができたのではないのでしょうか。

いよいよ本年は、2巡目の大分国体が9月に開催されます。6競

市民クラブ

商業施設誘致を起爆剤に別府の活性化を！



内田 有彦



原田 孝司



加藤 信康



新年あけましておめでとうございます。

さて、今や市場万能主義が国民生活にも大きく影響し、国民に格

技の開催地となる別府を、県内外から多くの選手団・大会関係者が訪れます。私たちの心温まる歓迎で、大分国体を大成功させていきましょう。

公明党が連立政権に参加して8年間、皆様のご支援に支えられ、市民生活に密着する多くの実績を、着実に重ねることができました。今後も「大衆とともに」の立党の志をどこまでも堅持し、徹して市民本位の政策の実現に頑張つて参ります。

今年も団結第一で、皆様の声にお応えして参る決意です。更なるご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

日本共産党議員団

市民生活を応援する市政実現へがんばります



平野 文子



野田 紀子



猿渡 久子



新年あけましておめでとうございます。日頃からのみなさんのご支援に感謝申し上げます。みなさんはどのような新年を迎えられたでしょうか。

政府は福田内閣に変わりました

し、真の国際観光温泉文化都市として生まれ変わっている過程にあるのではないのでしょうか。そういう中で、昨年末には、浜田市政の一つの成果でもあります楠港跡地への商業施設が誘致されました。別府の景気浮揚の一つの起爆剤として機能してくれることを期待すると共に、市民の皆さまの町づくりへの活発な議論参加とさらなる行動をお願いするところです。

今年一年間、市政に対するご協力をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

が、増税や負担増など弱いものいじめはとどまるところを知りません。今年4月から、75歳以上の方を対象に後期高齢者医療制度がスタートする予定で、医療保険料の年金からの天引きがはじまります。

前期高齢者といわれる65歳から74歳までの方の国保税も、多くの方が年金天引きになります。

市民の所得は減る中で、今こそ、別府市は悪政から市民を守る防波堤としての役割を果たさなければなりません。私たちは、乳幼児医療費無料制度の充実に向け、市民

行財政改革クラブ

「日本で一番税金を効率よく使う町」を目指して



武弘 泉



別府市が最も輝ける都市となるように皆さんと一緒に頑張りたいと願っています。

早いもので、議員になって26年目を迎えます。この間、行財政改革に取り組み、保育園の民営化やごみ収集の民間委託を進めさせることができました。しかし、市の取り組みから「税金を効率よく使う」という真剣さを見ることができません。市が進めている、歳出削減に重点を置いた改革では、抜本的な財政構造の改善につながりません。

のみなさんと一緒に取り組んできましたが、就学前までの完全無料化が今年4月から実現することが決まりました。今後とも、市民生活を守るため、みなさんの願い実現に力を合わせてがんばります。今年もよろしくお願いいたします。

全ての事務事業を再点検し、市がする仕事、市と民間が協働でする仕事、民間にしてもらう仕事に分類することが必要です。そして、その仕事を正規職員、臨時職員、民間委託、民営化などに分けて進めることが極めて大切なことです。今年は改革を更に進めます。私の政治目標「日本で一番税金を効率よく使う町」の実現に向けて努力します。また、「泉武弘の市政だより」は昨年10万軒の方にお届けすることができました。今年も「市政の今」を市政だよりでお届けし、問題点を一緒に考えたいと願っています。今年もご指導、ご支援をお願いします。

市民の声クラブ

良識の目線で市政をチェックしていきます



池田 康雄



また新しい年が明けました。

昨年は青山プールや市民球場が完成し、スポーツ観光に寄与する施設の整備が進みました。また、アジア・太平洋水サミットが開催されるなど比較的市政が順調であった年だったと言えるかも知れません。しかし、別府市政には行財政の諸課題や観光浮揚、教育の再生など相変わらず山積みされたままの課題が多くあります。当局は機構改革などもしながらいろいろと施策を提案してきますが、それらがいつも最良のものであるかどうかは厳しくチェックされなければなりません。

私は、議会に提案されてくる議案が国際観光温泉文化都市である別府市の将来と市民の生活にとって本当に有益であるかどうかという視点から真摯に検討するように心がけています。

本年も皆様方から忌憚のないご意見をいただきながら精一杯の議員活動に励んでいく所存です。よろしくご指導・ご鞭撻のほどをお願いし、皆様にとって幸多い一年でありますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつにさせていただきます。

○掲載は、大会派順（同数の場合は、多期数会派から）です。

○写真は、会派の代表者、期数の古い順に掲載しています。

虚礼廃止にご理解とご協力を

政治家が、年賀状などのあいさつ状や、寄付等の行為をすることは、法律で禁止されています。本誌面を持って「年頭のごあいさつ」とさせていただきます。市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。